

第 1 回 日本語教育推進関係者会議

愛知県の学校教育における 日本語指導について



愛知県教育委員会

■日本語指導が必要な外国人児童生徒数

(2018年5月1日現在、単位:人)

都道府県	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校等※	合計
1 愛知県	6,146	2,462	0	492	9,100
2 神奈川県	2,845	963	6	639	4,453
3 東京都	1,857	1,027	27	734	3,645
4 静岡県	2,107	712	0	216	3,035
5 大阪府	1,309	918	87	305	2,619
全国	26,092	10,213	185	3,995	40,485

※高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の計

(出典)文部科学省「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査(平成30年度)」の結果について

■日本語教育が必要な外国人児童生徒数の推移

(2018年5月1日現在)

年 度	小学校		中学校		高等学校等※		合計
	学校数	児童数	学校数	生徒数	学校数	生徒数	
2010年度	448	4,081人	213	1,427人	26	115人	5,623人
2012年度	422	4,072人	199	1,613人	27	193人	5,878人
2014年度	445	4,379人	225	1,769人	29	225人	6,373人
2016年度	513	5,049人	243	1,959人	39	269人	7,277人
2018年度	562	6,146人	278	2,462人	50	492人	9,100人

※高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の計

(出典)文部科学省「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査(平成30年度)」の結果について

■義務教育での取組

◆児童生徒の日本語習得状況に応じた指導体制

【学校内】

◆日本語初期指導教室(取出し指導)

- 市の日本語指導員や語学相談員による日本語指導
- 日常の学校生活に係る日本語指導が中心
- 学校の余剰教室を利用
- 3,4ヶ月を1サイクルとした初期指導
- 月～金の授業時間内に実施(各日、半日程度)

◆通常授業における取出し学習支援

- 日本語教育適応学級担当教員による学習支援
- 教科学習における日本語指導が中心
- 日本語指導教室や国際教室を利用
- 通常授業の学習時間内

◆県教育委員会…語学相談員派遣

- 日本語教育適応学級担当教員の補助や学校生活についてのアドバイス、保護者との面談時の通訳など、児童生徒個々の実情に合わせた支援を行う。

■日本語初期指導教室

対象	日本語で日常会話ができない、来日間もない外国にルーツをもつ小中学生
期間	月～金曜日（1～4限） ※午後は所属校へ 2～3ヶ月（200～280時間）
場所	対象児童生徒が多在する学校（拠点校） 教育センター（市の施設）
指導	日本語指導員・母語指導員（免許無・市職員） 室長・コーディネーター（免許有・市職員）
内容	基礎日本語（ひらがな読み書き・日常会話） 日常生活や学校のきまり
教材	各市町村独自教材・県教委モデルプログラム ※NPO法人団体等の協力により作成

■ 日本語初期指導教室の在り方 リーフレット作成・配付

あいちの外国人児童生徒教育連携事業

日本語初期指導教室の在り方リーフレット No.2
生き生きと学校生活を送るために

120時間 (60日) プログラム



- 本リーフレットは、日本語指導を必要とする児童生徒について、当初の3か月間、在籍学級で授業を受けながら、1日2コマ(90分)の時間を在籍学級から取り出して日本語初期指導を受ける計画を提示しています。
- 小学校中学年程度を想定していますが、児童生徒の年齢や母語の習得程度によって内容や進度を見直すなどして、個別の指導計画を立ててください。
- 日本語初期指導教室で、初期指導の参考となる資料は次の三つです。本プログラムでも、随所で使用されています。

1 『小学校ガイドブック』ポルトガル語版/スペイン語版/タガログ語版【愛知教育大学】

2 『小学校入学への準備～1年生になるまえに～』【愛知県】
ORLトガログ語、スペイン語、タガログ語、中国語、英語併記

3 『たのしい! わんせい!』【愛知県】
ポルトガル語、スペイン語、タガログ語、中国語、英語併記

愛知県教育委員会義務教育課

0 日本語を学ぶ準備をしよう (個別の指導計画)	
＜第1期の目標＞ 学校生活を送る上で、最低限の意思疎通ができる日本語を習得する。	
学習する内容(表現、文字・語彙)	
1 授業の言葉を覚えよう 「はい」「立ちます」	2 平板名を繰り返してみよう 平板名歌、あいさとおの歌
2 挨拶をしよう 「おはよう」「こんにちは」	4 平板名に慣れよう 文字の形の認識、音節、書き順の基礎
3 自己紹介をしよう 「わたしの名前は〇〇です」	6 平板名のルールを知ろう 濁音「の、ぎ、ん」「を、は、へ」、仮音「きて、て」
4 学校生活のルールを知ろう 「い/だめ」「先生、トイレ」	8 発音について知ろう 長音「おばあさん」、短音「きや」
5 数を数えよう1 1～5	10 簡単な平板名を覚えよう 「し・い・う・く・こ」
6 毎週道具の名前を覚えよう 「えんぴつ」「けしごむ」と「なに?」	12 平板名を覚えよう1 あ行「あ・お・え」
7 数を数えよう2 0・6～10	14 平板名を覚えよう2 か行「か・き・け」
8 「ある/ない」を使おう 「鉛筆ある?」「ない」	16 平板名を覚えよう3 さ行「さ・す」と「ん」
9 数を数えよう3 11～19	18 平板名を覚えよう4 な行「な・に」
10 「いる/いない」を使おう 「お母さんはいる?」「いない」	20 平板名を覚えよう5 た行「た・ち・つ・て」
11 数を数えよう4 10・20・30	22 平板名を覚えよう6 た行「と」
12 「ぼく/わたし」を使おう 「だれ?」「ぼく/お母さん」	24 平板名を覚えよう7 な行「ぬ・の・お」
13 数を数えよう5 20～99	26 平板名を覚えよう8 は行「は・ほ・へ」
14 指示の言葉を聞いて動こう 「来て/見て/聞いて」	28 平板名を覚えよう9 は行「ひ・ふ」、ま行「ま」
15 「こう?」「そう?」「ちがう?」を使おう 「こう?」「そう?」「ちがう?」	30 平板名を覚えよう10 ま行「み・む・め」
16 教科の名前を数えよう 国語・社会・算数(数学)	32 平板名を覚えよう11 ま行「も」、や行「や・ゆ」
17 曜日を数えよう 「国語、何曜日?」「月曜日」	34 平板名を覚えよう12 ら行「ら・る」、や行「よ」
18 「昨日/今日/明日」を使おう 「今日、社会ある?」「ない」	36 平板名を覚えよう13 ら行「ら・り・れ」
19 丁度の時刻を数えよう 「何時?」「10時」	38 平板名を覚えよう14 わ行「わ・を」
20 数を数えよう6 100・200・300	40 平板名を覚えよう15 が行「が・ぎ・ぐ・げ・ご」

図字……120時間プログラムの何時間目かを表します。

＜第2期の目標＞ 学校生活をスムーズに送るための日本語を習得する。	
学習する内容(表現、文字・語彙)	
21 41 「わかる/わからない」を使おう 「OO、わかる?/わからない?」「わかる」	49 平板名を覚えよう16 び行「び・ひ・せ・ぜ・べ、びん だ・ぢ・ぢ・や・め
22 43 曜日・日にち・時計を使おう 「今日、何曜日?」「月曜日」	44 平板名を覚えよう17 びん だ・ぢ・ぢ・や・め、びん だ・ぢ・ぢ・や・め
23 45 「おなじ/ちがう」を使おう 「同じ?違う?」「同じ」	46 濁音を覚えよう 「ぼん」「かん」「ばん」
24 47 「口、指の?」を使おう、覚えよう 「これ、だれの?」「ぼくの/私の」	48 促音を覚えよう 「きてて」「きっぷ」「はっぱ」
25 49 「ここ/どこ/あそこ」を使おう 「時計、どこ?」「あそこ」	50 濁音と拗音を覚えよう 「いしゃ」「しゃしん」「べんきょう」
26 51 「みぎ/ひだり/まんなか」の体の部位の名前を使おう 「右」「左」	52 長音「う」を覚えよう 「そう」「ぞうきん」「そうじ」
27 53 「うえ/した」を使おう 「これ、下?」「上」	54 長音「い」を覚えよう 「うけい」「せんせい」「けいかん」
28 55 「いたい」を使おう 「どこが痛い?」「頭が痛い」	56 平板名と似ている片仮名を覚えよう 「り」「へ」「も」「か」
29 57 電卓を使おう 「もしもし、〇年〇組の〇〇です」	58 身近なものと片仮名を覚えよう1 「ペン」「ラジオ」「テープ」
30 59 「いる/いない」を使おう 「お母さん、いる?/いない?」「いない」	60 身近なものと片仮名を覚えよう2 「パンツ」「パン」「スカート」
31 61 「わがは、かして、あがだう」を使おう 「指しゴム貸して」「ありがとう」	62 身近なものと片仮名を覚えよう3 「オートバイ」「ドア」「クーラー」
32 63 「たべる、のむ」を使おう 「食べる?/食べない?」「食べない」	64 身近なものと片仮名を覚えよう4 「セッカ」「ソフトクリーム」「シューズ」
33 65 「おおきい/ちいさい」を使おう 「大きい?小さい?」「大きい」	66 身近なものと片仮名を覚えよう5 「ネクタイ」「シャツ」「シャワー」
34 67 売れた品名を使おう 「読書講座」買い物遊び	68 ヒントを使って片仮名を書こう 「五十音」順
35 69 名前と出生地を伝えよう 「ぼく/わたしの名前は～です」	70 自己紹介をしよう1 名前を言う、名前を書く
36 71 好き嫌いを入れよう 「～が好きで/好きではありません」	72 自己紹介をしよう2 学年、組、先生の名前
37 73 時計を数えよう 「〇時〇分」	74 「何時から」を覚えよう デジタル時計、時間制
38 75 「何時から何時まで」を覚えよう 「〇時〇分から〇時〇分まで」	76 月・週・日を表す言葉を覚えよう 「〇月〇日から〇月〇日まで」
39 77 時刻制を数えよう 「〇曜日、〇〇ありますか」	78 時刻制をそろえよう 時刻制を読み、用意準備
40 79 好きな時間割を作ってみよう 「〇曜日、〇時間は何ですか」	80 曜日の漢字を覚えよう 「日、月、火、水、木、金、土」

図字……120時間プログラムの何時間目かを表します。

◆ 120時間 (60日) のモデルプログラム

■通常授業での取り出し学習支援

対象	初期指導教室を終え、日常会話が可能だが、日本語指導が必要な外国人児童生徒
期間	月～金曜日の通常授業時間内の取り出し (学校で決めた時間割に従って実施)
場所	各校の日本語指導教室・国際教室や空き教室
指導	日本語教育適応学級担当教員
内容	日本語指導・教科学習の補充(予習)
教材	教科書(通常授業使用)・各市町村独自教材

■日本語教育適応学級担当教員の配置

◆独自に定めた配置基準

- 対象児童生徒が**10人以上**の小中学校に、在籍人数に応じて**教員**を配置。
【追加】小学校：**20人**毎に＋1人
中学校：**10人**毎に＋1人
- 対象児童生徒が10人以上在籍する小学校がない市町村において、市町村全体で10人以上の場合に教員1人を配置。

◆配置人数（2019年度）

- **602名**（名古屋市を含む）
※うち88名は単県定数

■ 日本語教育適応学級担当教員の配置

◆ 任務

- 外国人児童生徒への日本語指導及び教科指導、学校生活への適応指導等。

◆ 指導方法・内容

- 校内に「日本語教室」「国際教室」等を設け、個人又は母語別グループで取り出し、一定時間数、担当教員が指導。
- 対象児童生徒の教室に入り込みTT指導。

■ 語学相談員の派遣

＜市町村における語学相談員の配置状況＞

◆ 配置方法

外国人児童生徒への日本語指導等を補助するため語学相談員や指導協力者等を独自で採用・配置。

◆ 配置状況（2019年5月1日現在）

- 38市町において 284名
- 最大：53名（豊田市） / 最小：1名（4市町）
- 平均配置数：7名

⇒ 人材・財政的な面等で

配置が難しい市町村に対して、県は…

■ 語学相談員の派遣

◆ 派遣方法

各教育事務所に語学相談員 **11名（非教員）** を配置、市町村の要請に応じて学校へ派遣。

- ・ポルトガル語：4名
- ・スペイン語：4名
- ・フィリピン語：3名

◆ 主な職務

日本語指導、母語指導、教育相談、保護者会等での通訳、連絡文書の翻訳等

◆ 訪問校数〈延べ校数〉（2018年度）

小学校2,278回、中学校1,094回、計3,372回

■外国人児童生徒教育連絡協議会

◆目的

外国人児童生徒等の教育や就学等に関する
情報交換を行い、理解を深める

(年1回：1992年度より開始 74人参加)

◆参加者

- 関係市町村教育委員会担当指導主事
- 愛知県総合教育センター
- 講師等
- 語学相談員
- 県教委事務局

◆情報交換のテーマ

【H29】 日本語初期指導教室の実施状況

【H30】 進路指導の仕方

■外国人児童生徒教育講座

◆開催概要

- 対象：外国人児童生徒の指導に携わっている教員
- 会場：愛知県総合教育センター（2002年～）
- 全体研修1日、地区別研修1日

◆講座内容

- 県語学相談員による教材紹介等



■外国人児童生徒へのきめ細かな支援事業

◆事業内容

文部科学省が実施する国庫補助事業「帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業」を活用し、市町村の以下の事業費の1 / 3以内を補助。（新規）

◆補助対象

- 「日本語初期指導教室」の運用
（語学指導員などの人件費）
- 「ICT機器」の活用
（多言語翻訳機のリース代等）

■高等学校教育の取組

◆教育支援員の配置

日本語によるコミュニケーション能力が十分に身に付いていない外国人児童生徒が在学する県立高等学校及び特別支援学校に支援員を設置し、学習活動や学校生活を支援。 **530名** (2019年5月1日現在)

◆通訳機の導入

外国人児童生徒等が多く在籍する県立学校（**定時制高校23校、特別支援学校2校**）に多言語対応の小型通訳機を導入し、活用効果の検証を図っている。

◆就労アドバイザーの配置

定時制・通信制高校の外国人生徒の正規雇用の就労先を開拓（企業訪問等）する就労アドバイザーを配置。

■外国人生徒等への入試の配慮

<外国人生徒及び中国帰国生徒等に係る入学者選抜>

◆実施校

- 県立高等学校9校で実施。2020年度は**11校**

◆学力検査

- 国語、数学及び外国語（英語）の基礎的な内容。
- 一般選抜の学力検査とは別に実施。
- 問題の漢字には**ルビ**を付し、面接は個人面接。

◆実施状況

- 2019年度入試（2019年3月実施）
志願者数**42名** 合格者数**30名**

■外国人生徒等への入試の配慮

<定時制課程前期選抜における

外国人生徒等にかかる受検上の配慮>

◆配慮内容

出身中学校長等から「外国人生徒等にかかる受検上の配慮に関する申請書」が提出された入学志願者について、基礎学力検査を行う場合は漢字にはルビを付し、面接は個人面接とする。

◆実施状況

- ・2019年度入試（2019年3月実施）

申請者数146名 合格者数113名

■生涯学習課の取組

< 若者・外国人未来応援事業 >

◆内容

高等学校卒業程度認定試験合格等に向けた学習支援を行うとともに、関係機関・団体等の連携に基づいた相談・助言を実施。

◆参加者

- 対象は中卒後の進路未定者、高校中退者、日本語支援が必要な外国人等。
- **71名**（内外国人39名、2019年9月末現在）
- 募集定員はなし。授業料は無料。

■生涯学習課の取組

＜若者・外国人未来応援事業＞

◆実施場所（6箇所）

- ＜名古屋地域＞ 愛知県図書館
県生涯学習推進センター（日本語学習支援）
- ＜豊田地域＞ 豊田市青少年センター
- ＜豊橋地域＞ 豊橋市青少年センター
- ＜春日井地域＞ 春日井若者サポートステーション
- ＜知多地域＞ ちた地域若者サポートステーション

※ 外国人対象の日本語指導は名古屋のみ

■教員採用試験での工夫

＜外国語堪能者選考＞

◆選考内容

教員採用試験において、外国語堪能者選考を導入し、外国語に堪能である人材を確保。これまでに約70名を採用。

◆選考言語

- 2007年度～ ポルトガル語、スペイン語、中国語
- 2017年度～ フィリピン語。

■多文化共生推進室の取組

＜プレススクールの普及＞

◆対象

主に小学校入学直前（5～6歳）の外国人幼児

◆目的

入学した小学校で戸惑うことなく、学校生活に早期に適応できることを目指して、簡単な日本語や学校の習慣などを教える。

◆概要

初期の日本語指導、学校生活の指導など
（挨拶、鉛筆の持ち方、掃除など）

■多文化共生推進室の取組

＜多文化子育てサロン＞

◆目的

乳幼児を持つ外国人親子が、日本人親子との交流の中で、子どもに言葉を教えるポイントを学ぶ。

◆参加者

乳幼児を持つ外国人県民、日本人親子
(3市 それぞれ9月から2月まで、8～9回)

◆内容

- 子どもの「ことば」について (絵本の読み聞かせ等)
- 保護者の日本語能力の育成 (日本語の歌や紙芝居体験)



■多文化共生推進室の取組

＜外国人児童生徒等による 多文化共生日本語スピーチコンテスト＞

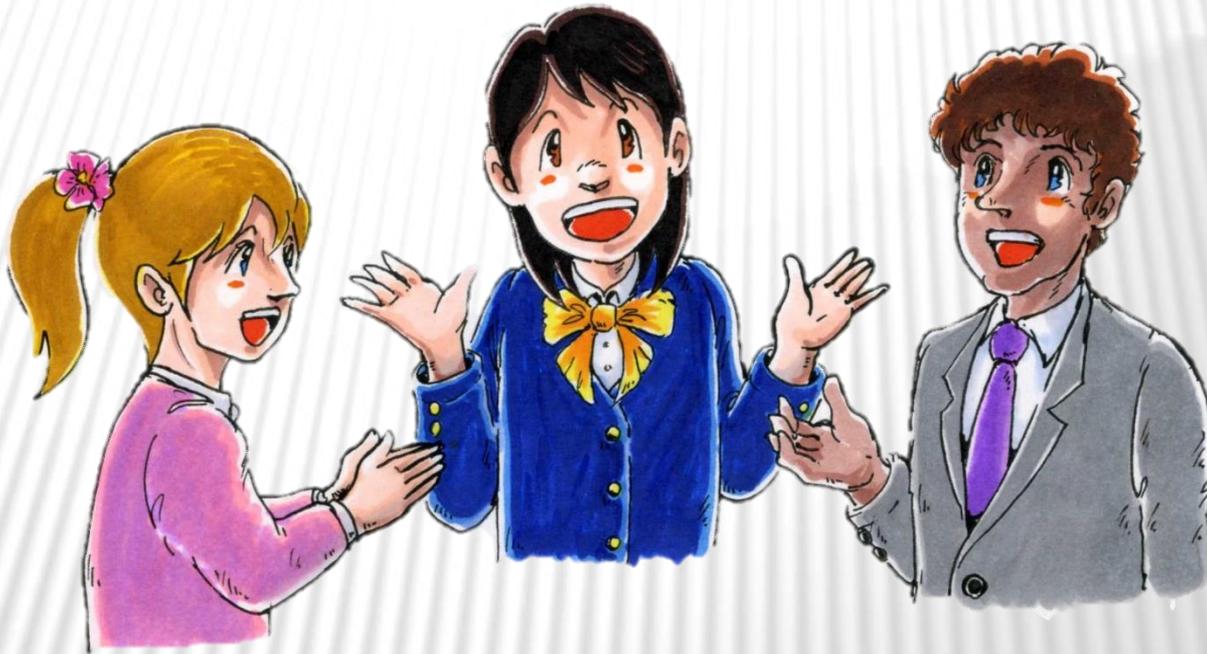
◆目的

外国人児童生徒等が自分の思いや考えを日本語で伝えようとする意識の高揚を図るため、県内在住の小中学校外国人児童生徒等から参加者を募集し、スピーチコンテストを開催



◆2019年度実績（8月24日開催）

- 応募者数 71名（小学生53名、中学生18名）
- 本選出場者 小学生11名 中学生4名



ご清聴ありがとうございました